

IoTで未来を拓く ものづくり新時代



出展のご案内

SCF2017 SYSTEM CONTROL FAIR 計測展2017 TOKYO

オートメーションと計測の先端技術総合展

会期 2017年11月29日(水) ▶ 12月1日(金) 10:00 ▶ 17:00

会場 東京ビッグサイト 西1・3・4ホール、アトリウム **ウェブサイト** <http://scfmcs.jp/>

入場料 1,000円(税込) ※事前登録者または、ご招待券持参者は入場無料 | 学生:無料 **同時開催** 2017国際ロボット展(東ホール)

主催: **JEMA** 一般社団法人 日本電機工業会 **NECA** 一般社団法人 日本電気制御機器工業会 **JEMIMA** 一般社団法人 日本電気計測器工業会

後援: 経済産業省、環境省、独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、東京ビッグサイト(順不同、申請予定)

協賛: 一般社団法人 日本ロボット工業会、一般社団法人 日本工作機械工業会、一般社団法人 日本電気協会、一般社団法人 日本電子回路工業会、一般社団法人 日本食品機械工業会、一般社団法人 電子情報技術産業協会、一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本化学工業協会、公益社団法人 計測自動制御学会、一般財団法人 製造科学技術センター、一般財団法人 省エネルギーセンター、システム制御情報学会、一般社団法人 日本産業機械工業会、一般社団法人 日本計装工業会、一般社団法人 電気学会、一般社団法人 日本配電制御システム工業会、一般社団法人 日本機械工業連合会、一般社団法人 日本機械学会、一般社団法人 日本鉄鋼連盟、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会、公益社団法人 自動車技術会、一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会、日本液晶学会、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、独立行政法人 製品評価技術基盤機構、日本電気計器検定所、一般社団法人 日本品質保証機構、一般社団法人 日本計量器工業連合会、一般社団法人 日本分析機器工業会、一般社団法人 日本電設工業協会、ロボット革命イニシアティブ協議会、一般社団法人 インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ(順不同、申請予定)

明日のものづくりに出会える3日間

「第4次産業革命」～概念からユースケース・実践へ～

第4次産業革命はIoTが産業構造を変え、「モノ」から「コト」へ、すなわち「製品」から「サービス」へ付加価値が変わる変革とされています。「SCF/計測展」は、前回新たな潮流として「第4次産業革命-つながる化」をテーマに、「IoTによってさまざまなモノがつながる」という概念を発信しました。

2017年、「SCF/計測展」は、その変革を概念からユースケース・実践へと進化させます。今回「オートメーションと計測の先端技術総合展」として、新たに出席対象品目に「IoTソリューション」を加え、これまでの業界のものづくりにとどまらず、異種連携を実現するさまざまな出展者が集います。多くのユースケースの登場と共に、出展者同士が「つながる」、来場者と「つながる」、ビジネスマッチングの場へと発展します。IoTで社会とつながり未来を拓く、明日のものづくりに出会える場を実現します。



グローバル連携を強化

ドイツ発のIndustrie4.0、米国発のIndustrial Internetなどの取り組みと、日本の第4次産業革命の取り組み。日独米の産官学が連携することで、新たな局面を迎えています。IoT分野におけるグローバルな取り組みが加速しています。2017年、「SCF/計測展」では、独ZVEIや米IICとの協力によるセミナー企画や、海外バリエーションで積極的に情報発信するほか、外国人来場者を拡大する海外プロモーションを強化するとともに、IoT Asiaなど海外イベントでのアピールや、国際標準化の課題に取り組むなど、グローバル連携を積極的に展開、強化していきます。



異種連携がIoT時代をつくる

第4次産業革命の中核となるCPS-Cyber Physical Systemは、IoT、ビッグデータ分析、人工知能などデジタル世界で目覚ましい進化をする情報技術と、機械設備、作業員などのアナログな運用・サービス技術によって構成されます。これの実現に向けて、RRI(ロボット革命イニシアティブ協議会)、IVI(インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ)、産業技術総合研究所、国家プロジェクト、それに様々な工業会、企業が海外を含め互いに連携し、オープンイノベーションに取り組んでいます。

2017年、「SCF/計測展」でそうした成果がよいよ姿を表します。



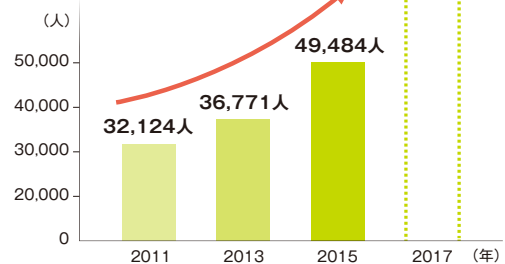
前回実績

過去最多の来場者数

来場者数 (出展者を除く) **49,484人**

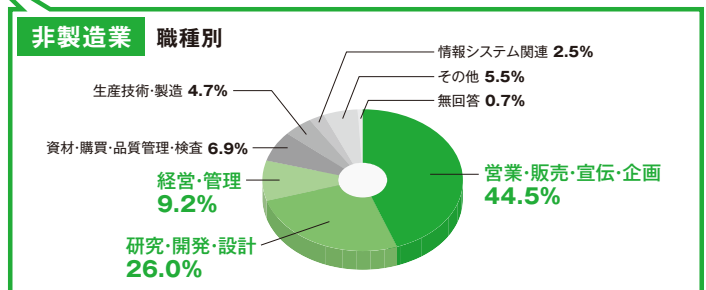
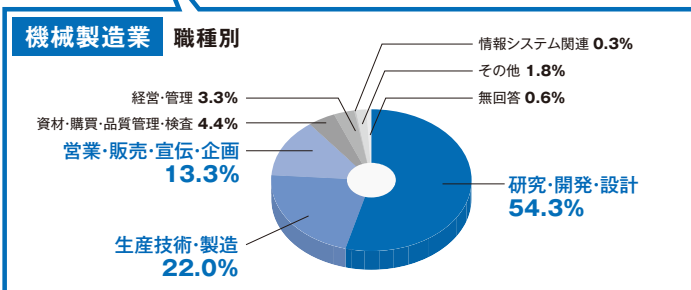
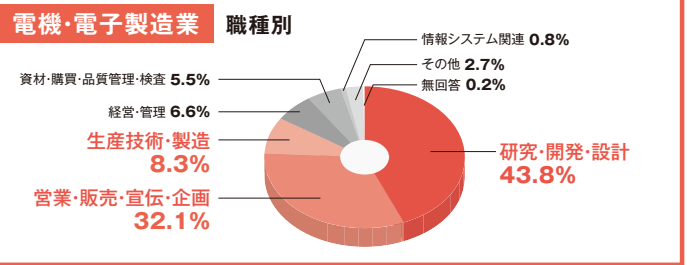
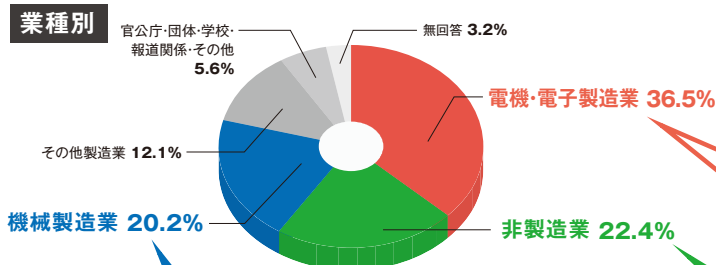
2013年 **36,771人** 2011年 **32,124人**

来場者数の推移 (出展者を除く)



来場者プロフィール

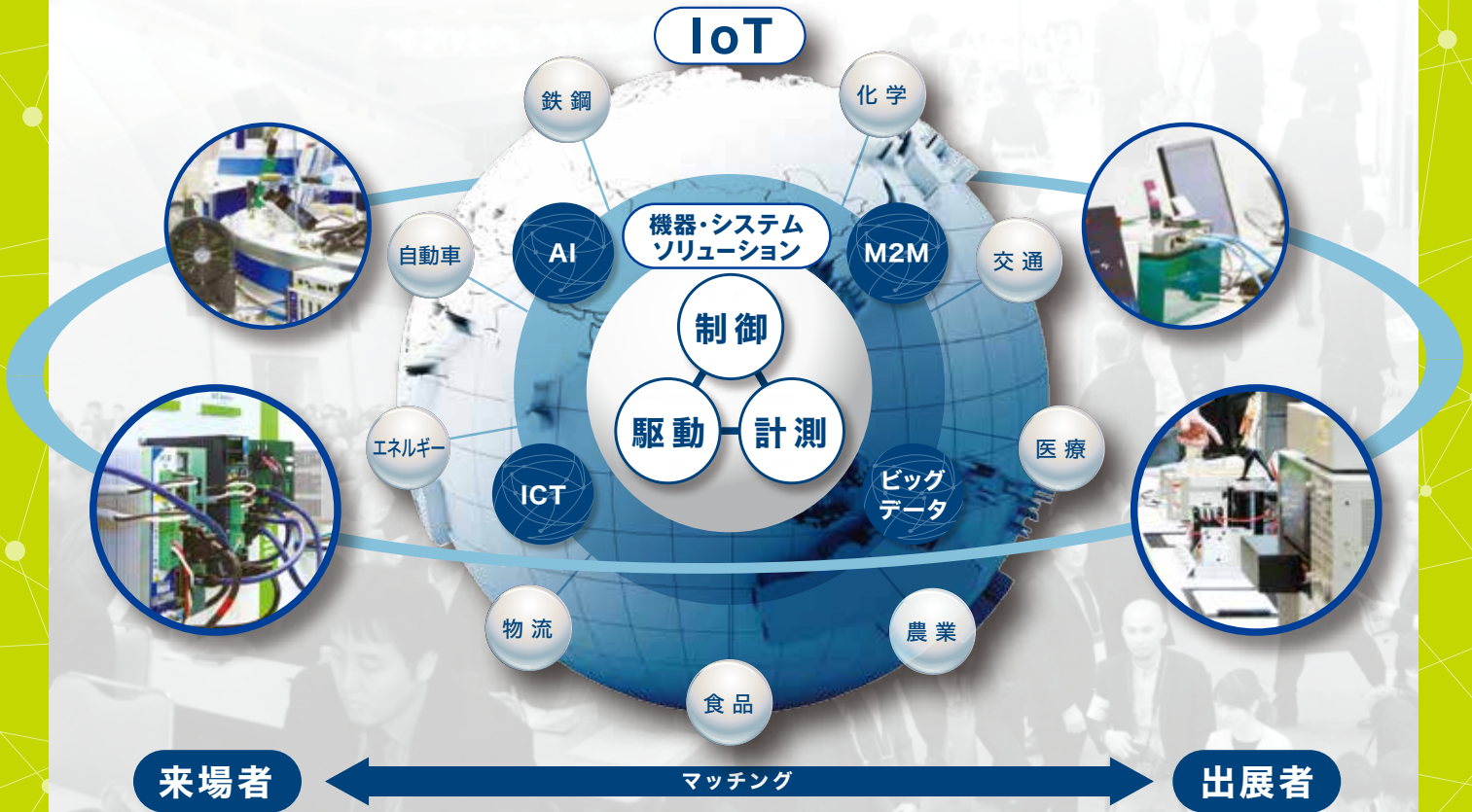
「SCF 2015/計測展2015 TOKYO」来場者アンケートより



オートメーションと計測の先端技術総合展

SCF2017 SYSTEM CONTROL FAIR 計測展2017 TOKYO

IoTで未来を拓くものづくり新時代



出展対象分野と出展対象品目

対象分野 鉄鋼、化学、自動車、電子機器、医療、食品などの全産業分野のものづくり、エネルギー、水、交通、排出物処理などの社会インフラ

機器・システム
ソリューション

制御

駆動

計測

配電

省エネルギー

新エネルギー

IoT
ソリューション

ICT全般

IoT/M2M

AI

ビッグデータ活用

SCF / 計測展はさらに進化します

昨今のものでつくりの分野においては、ICTの飛躍的な進化を背景に、欧米に端を発した第4次産業革命による変革が世界の潮流となり、日本でも産官学あげてこの変革に対応する取り組みを加速させようとしています。

これまでの産業発展の過程において、オートメーションと計測は、産業の中核をなす技術として、国内外の社会インフラやものづくりを支え、またその先端技術はアジア・日本を代表するファクトリーオートメーション (FA) 専門展の「システムコントロール フェア (SCF)」と計測と制御の専門展の「計測展」にて発信されてきました。

今回、ご案内の「SCF 2017」と「計測展2017 TOKYO」は、前回の同一会場・同時開催から更に進化し、合同開催としてより一体化します。そして新しい潮流をなすICT、IoT・M2M、AI、ビッグデータ活用といった技術と協調・融合した「オートメーションと計測の先端技術総合展」というコンセプトの下、「IoTで未来を拓くものづくり新時代」をキャッチフレーズに、前回の「第4次産業革命 一つながる化」を継承しつつ、概念からユースケース・実践へと進化させます。

「SCF / 計測展」は、工業会主催の手作り感のあるユニークな展示会です。出展者の皆様のビジネス発展に貢献する商談機会の充実を図ることはもとより、工業会主催ならではの業界からの情報発信を行い、出展者・来場者の皆様との情報共有・交流を図ってまいります。

多くの皆様にご賛同・ご出展賜りますようご案内申し上げます。



SCF / 計測展 TOKYO
実行委員会 委員長

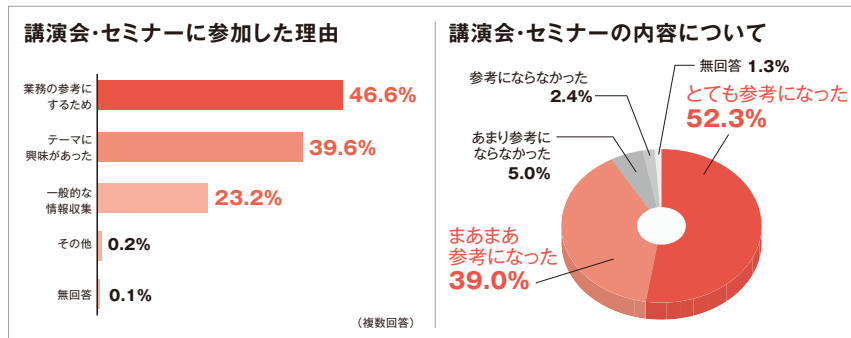
朝田 稔

充実した併催企画

明日のものづくりを支えるキーパーソンが登壇する多彩なセミナー

日本のものづくりを支える経営者・キーパーソンを招へいするKEYNOTEセッションをはじめ、出展者の最新技術動向や新製品をアピールする出展者セミナーや、事例を取り上げながら、様々な角度から自社製品の紹介をすることができるスポンサーセッション等、バラエティに富んだセミナーを多数実施します。最新動向や日本のものづくりが抱える課題を提示しながら、明日のものづくりを考える場を作ります。

講演会・セミナーアンケート結果



出展者セミナー

新製品や最新技術を直接顧客にアピールできる出展者セミナー。セミナーを通して、展示ブースだけでは伝えきれない、踏み込んだ情報を紹介することが可能です。展示会場内に特設会場を設置するため、展示ブースと併せて、より効果的なセールスプロモーションを実現できます。

スポンサーセッション

ゲストスピーカーによる製品事例の紹介やパネルディスカッション等を交えながら、自社製品のみならず、企業アピールが可能なスポンサーセッション。プライベートセミナーのように、より密接なセールスプロモーションを実現できます。

主催者特別企画

IoTの普及が急速に進む2017年、今後の社会の発展に欠かせない「中堅・中小製造業」のIoT導入に向けた、未来への新しい・画期的な取り組みを紹介しながら、明日のものづくりの在り方を、RRI、IVI他と連携し、発信していきます。



IoTネットワークゾーン

最新のオープンネットワーク機器・技術・サービスを集中展示します。前回新設した「オープンネットワークゾーン」に「IoT」が加わり、より強力でオートメーションを進化させるツールをご紹介します。特設ステージでは、各社の最新技術動向を発表します。



アトリウムステージ

展示ブースの見どころや講演会・セミナーの聴きどころをご紹介します。今回は、各企業の現場で働く方々にも登壇いただくなど、コンテンツも盛り沢山です。展示会場内のサイネージやインターネットで配信し、展示会をより楽しむための情報発信基地として活用します。



来場者プロモーション

来場者拡大に向けての強力なメディアプロモーション

新聞・雑誌

有力業界専門紙、および有力工業専門紙などを活用します。(前回実績：日経産業新聞、日刊工業新聞、電波新聞等)中核来場者である電機・電子・機械・ものづくりの製造技術者から企業のマネジメント層、中堅中小企業経営者、ICTプロフェッショナル、社会インフラ関連分野のキーマンまで、幅広く告知活動を展開します。



公式ウェブサイト

早期に展示会公式サイトを立ち上げ、展示会出展・来場に関する最新情報を掲載いたします。充実したコンテンツで来場意欲を強力に高めます。



Eメール/eDM

日経テクノロジー online、日経ビジネスonline、ITpro Newsメールなどの登録読者に向けてeDMを配信します。また、「オートメーション」、「計測」、「制御」、「IoT/M2M」といったキーワード(予定)で読者を抽出して、ターゲティングメールを効果的に活用します。

SNS(ソーシャルメディア)による情報発信

公式Facebookページなど、ソーシャルメディアを活用し、これまでの既存来場者層だけでなく、様々な分野の来場者ターゲット層や若年層に向けて、より広く展示会やセミナー情報を発信していきます。

海外からの来場者誘致のプロモーションを強化

海外の関連技術展示会にてPRブースを出展し、積極的な直接プロモーションを行います。英語サイトのコンテンツを充実させ、海外メディアを活用しながら、海外のものづくり産業の関係者へeDMを配信します。また毎年、大使館・貿易促進団体および関連団体向け説明会を開催しています。

SCF 2015 / 計測展2015 TOKYO 出展者一覧

- アールエスコンポーネンツ 株式会社
- ISA100 Wireless Compliance Institute
- IDEC 株式会社
- 株式会社 アイファ電気商会
- 株式会社 アコー
- 旭化成EICソリューションズ 株式会社
- アズビル 株式会社
- アスプローバ 株式会社
- 株式会社 アドバンテック
- アナログ・デバイス 株式会社
- アプリオリ 株式会社
- アメテック 株式会社
- アラクサラネットワークス 株式会社
- 株式会社 アルゴシステム
- アルファ・エレクトロニクス 株式会社
- アルファテック 株式会社
- アンリツ 株式会社
- 安立計器 株式会社
- EtherCAT Technology Group
- 株式会社 イージメジャー
- イーブラン ソフトウェア アンド サービス 株式会社
- 株式会社 イマジソム
- イルメジャパン 株式会社
- 岩通計測 株式会社
- Weintek Labs. Inc
- ウェリントック・ジャパン 株式会社
- HMSインダストリアルネットワークス 株式会社
- 株式会社 エーシック
- ABB 株式会社
- ABB日本ベアレー 株式会社
- 合同会社 エクシダ・ジャパン
- SUS 株式会社
- 株式会社 エニワイヤ
- 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
- 株式会社 NFテクノマース
- NKKスイッチズ 株式会社
- エフエクター 株式会社
- FDT Group
- 株式会社 エミツク
- 株式会社 MHPSCコントロールシステムズ
- 株式会社 エム・システム技研
- エムティティ 株式会社
- L S産電 株式会社
- 遠藤工業 株式会社
- 大倉電気 株式会社
- 大阪自動電機 株式会社
- 株式会社 大手技研
- オーム電機 株式会社
- 株式会社 岡崎製作所
- 株式会社 オサダ
- オムロン 株式会社
- オメガエンジニアリング
- オリエンタルモーター 株式会社
- 春日電機 株式会社
- 河村電器産業 株式会社
- 関西オートメーション 株式会社
- 関西積乱雲プロジェクト
- 株式会社 関東エルエンジニアリング
- キーサイト・テクノロジー 合同会社
- 菊水電子工業 株式会社
- 京西テクノス 株式会社
- 京都EIC 株式会社
- 共立機器 株式会社
- 株式会社 共和電業
- クーパー・インダストリーズ・ジャパン 株式会社
- 株式会社 クローネ
- 株式会社 ケーメックス
- ケプウェア・ジャパン 株式会社
- 光洋電子工業 株式会社
- KOA 株式会社
- コーセントリアルタイムシステムズ
- 国際電業 株式会社
- 株式会社 コスモテックス
- 株式会社 木幡計器製作所
- 株式会社 サータック
- 一般社団法人 産業サポート白河
- 株式会社 サンミュロン
- 山洋電気 株式会社
- GEインテリジェント・プラットフォームズ 株式会社
- GEエナジー・ジャパン 株式会社
- GEセンシング&インスペクション・テクノロジーズ 株式会社
- GMIジャパン 株式会社
- CC-Link協会
- 株式会社 シーズウェア
- 株式会社 シーティーケイ
- 株式会社 シーティーケイEAST
- 株式会社 シーティーケイWEST
- シーメンズ 株式会社
- ジェイティエンジニアリング 株式会社
- 株式会社 ジェイテクト
- 株式会社 指月電機製作所
- システムトリックス 株式会社
- 島津システムソリューションズ 株式会社
- 株式会社 シマデン
- シュメアザール日本支社
- 株式会社 ジョブル
- 白河電産 株式会社
- 新光電機 株式会社
- 新コスモス電機 株式会社
- 新日鉄住金ソリューションズ 株式会社
- スカイネット クラウド システムズ
- 株式会社 図研
- 図研エルミック 株式会社
- スステック 株式会社
- スズデン 株式会社
- 株式会社 ステップテクニカ
- スリーエムジャパン 株式会社
- 西華産業 株式会社
- セーフティネットワークジャパン
- 株式会社 ソルトン
- 株式会社 第一エレクトロニクス
- 大電 株式会社
- 株式会社 高砂製作所
- 株式会社 タカチ電機工業
- 株式会社 たけびし
- タケモトデンキ 株式会社
- 株式会社 田中電気研究所
- 株式会社 チノー
- 株式会社 千代田エレクトロニクス
- DEGSON ELECTRONICS CO., LTD.
- 株式会社 テクノ
- 株式会社 テクノエービー
- 株式会社 デジタル
- テルタ電子 株式会社
- 電子磁気工業 株式会社
- 東亜ディーケーケー 株式会社
- 東亜無線電機 株式会社
- 東海ソフト 株式会社
- 東京電気技術工業 株式会社
- 東光計器 株式会社
- 株式会社 東芝
- 東芝産業機器システム 株式会社
- 東芝ITコントロールシステム 株式会社
- 東芝シュネデール・インバータ 株式会社
- 東芝三菱電機産業システム 株式会社
- 株式会社 東電社
- 東朋テクノロジ 株式会社
- 東邦電気 株式会社
- 東洋技研 株式会社
- 東洋電機製造 株式会社
- ナダ電子 株式会社
- 株式会社 ニチフ
- 株式会社 ニック
- 株式会社 日恵製作所
- 株式会社 日新システムズ
- 日鉄住金テックスエンジニア 株式会社
- 日鐵住金溶接工業 株式会社
- 日東工業 株式会社
- 日本ドレッサー 株式会社
- 株式会社 ユニティクス
- 二宮電線工業 株式会社
- 日本OPC協議会
- 日本ダイレックス 株式会社
- 一般社団法人 日本電気計測器工業会(委員会)
- 株式会社 日本ファインケム
- 日本マイクロソフト 株式会社
- ネットワートナース 株式会社
- ネットワンシステムズ 株式会社
- 株式会社 ノーケン
- パーチャル エンジニアリング コミュニティ
- 株式会社 バトライト
- パナソニック 株式会社
- パナソニック デバイスSUNX 株式会社
- ハルーフ 株式会社
- B&R Industrial Automation 株式会社
- 株式会社 ビーアンドエフ
- PLCopen
- ビージェソフト 株式会社
- PTCジャパン 株式会社
- ヒーマ日本支社
- 日置電機 株式会社
- 株式会社 日立製作所
- 株式会社 日立産機システム
- 株式会社 日立ハイテクソリューションズ
- 日立造船 株式会社
- ヒルツジャパン 株式会社
- FieldComm Group
- フェニクス・コンタクト 株式会社
- 株式会社 Puerto
- 株式会社 フォトロン
- フジコン 株式会社
- 富士通 株式会社
- 富士電機 株式会社
- BRANCHCHILD ELECTRONIC CO., LTD.
- profichip GmbH
- ベッコフオートメーション 株式会社
- 株式会社 ベルチャイルド
- 北陽電機 株式会社
- 株式会社 堀場製作所
- 株式会社 堀場アドバンスドテクノ
- 株式会社 堀場エッセック
- 三菱電機システムサービス 株式会社
- マルチ計測器 株式会社
- 三菱電機 株式会社
- 三菱電機エンジニアリング 株式会社
- 三菱電機システムサービス 株式会社
- 三菱日立パワーシステムズ 株式会社
- 村田機械 株式会社
- メイク 株式会社
- 株式会社 明電舎
- MECHATROLINK協会
- 株式会社 安川電機
- 安川シーメンス オートメーション・ドライブ 株式会社
- 山里産業 株式会社
- 株式会社 ユー・アール・ディー
- ユーアイニクス 株式会社
- 株式会社 YOODS
- 株式会社 ユニティクス
- 横河電機 株式会社
- 横河ソリューションサービス 株式会社
- 横河メータ&インストルメンツ 株式会社
- ラティス・テクノロジ 株式会社
- リオン 株式会社
- 理研計器 株式会社
- リタール 株式会社
- 株式会社 リンクス
- 株式会社 レックス
- ロックウェル オートメーション ジャパン 株式会社
- ワゴジャパン 株式会社
- 株式会社 ワコム
- 渡辺電機工業 株式会社

オープンネットワークゾーン

- eWON
- HMSインダストリアルネットワークス 株式会社
- ODVA. Inc
- ガイロジック 株式会社
- Sercosアジア日本事務所
- SECOMEA
- softing Industrial Automation GmbH
- ターク ジャパン 株式会社
- 日本AS-i協会
- 株式会社 日本電機研究所
- 一般社団法人 日本電機工業会
- NPO法人 日本プロフィバス協会
- 日本モレックス 合同会社
- ハーディング 株式会社
- ヒルシャー・ジャパン 株式会社
- Motionnet協会
- 株式会社 ユニテック
- ルネサス エレクトロニクス 株式会社
- ワゴジャパン 株式会社

海外パビリオン

- Korea Electrical Manufacturers' Cooperative
- Hanyang Electric Co., LTD.
- Samkwang Solar Energy Solution Co., LTD.
- Seo Jin Electric Co., LTD.
- Pasetech Co., LTD.
- Good Will Instrument Co., Ltd.
- Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
- Highly Electric Co., Ltd.
- Fon Chang Electrical Corp.
- Dinkle Enterprise Co., Ltd.
- Gi Far Technology Co., Ltd.
- ドイツ電気電子工業会(ZVEI)
- IoT Asia 2016

出版・報道・公共団体

- 株式会社 インコム
- オートメーション新聞
- 公益社団法人 計測自動制御学会
- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- 一般社団法人 次世代センサ協議会
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター
- 電磁気応用技術センター
- 株式会社 電波新聞社
- 株式会社 日経BP
- 日本工業出版 株式会社
- 株式会社 電波新聞社
- 一般財団法人 日本品質保証機構
- フロスト&サリバン ジャパン 株式会社



出展料

普通小間 ※スペースのみ (間口3m×奥行3m×高さ2.7m)

- JEMA/NECA/JEMIMA会員:
320,000円(税別)/1小間
- 一般:
350,000円(税別)/1小間

パッケージブース付き小間 (間口3m×奥行3m×高さ2.7m)

- JEMA/NECA/JEMIMA会員:
420,000円(税別)/1小間
 - 一般:
450,000円(税別)/1小間
- ※附帯している設備等につきましては、公式ウェブサイトに資料をご用意しておりますので、サイトよりご確認ください。

出版・報道小間 (間口3m×奥行2m×高さ2.7m)

160,000円(税別)/1小間

※附帯している設備等につきましては、公式ウェブサイトに資料をご用意しておりますので、サイトよりご確認ください。

出展料に含まれるもの

- ① 出展小間スペース(バックパネル・サイドパネル)
- ② 小間番号札
- ③ 招待券DMセット(出展小間数に応じた規定枚数)*
- ④ 公式ガイドブック・公式ウェブサイトでの社名掲載・出展内容紹介
- ⑤ ポスター(希望者のみ/無料)

* 招待券DMセットの規定枚数について

- 1小間あたり500セット、ただし、10小間以上は一律7,500セットを送付します。
 - 規定枚数と追加枚数の合計が、出展小間数×500セットを超えない限り、追加は無料です。上記を超える追加については、1セット50円(税別)の追加料金が発生します。
- 例) 30小間の場合: 規定枚数と追加枚数が、15,000セット(30小間×500セット)を超える場合、追加料金が発生します。

出展資格に関して

- 主催者は、出展内容が当展示会の趣旨にそぐわないと判断した場合、出展をお断りすることがあります。

小間位置の決定に関する注意事項

- 小間配置は申込締切後、小間形態・会場構成等を勘案して、実行委員会にて調整決定します。
- 出展者の小間位置は、出展をお申し込みいただいた順番で、出展者説明会(8月3日)にて、小間位置を選んでいただきます。ただし、独立小間(16小間以上)の小間位置は、主催者と実行委員会にて調整の上、出展者説明会前に決定します(小間位置選定会は行いません)。
- 決定後の小間位置に異議を申し立てることはできません。
- 小間規格・展示装飾についての詳細は、公式ウェブサイトをご確認ください。

出展者セミナー料

■ 1セッション(40分): **150,000**円(税別)

※出展者セミナーの詳細については、別紙をご参照ください。

スポンサードセッション料

■ 1セッション(90分): **1,000,000**円(税別)

※上記は一例となります。詳細については、別紙をご参照ください。

出展申込締切 2017年6月16日(金)

- 予定小間数に達した場合は、申込締切日前でも締切らせていただくことがあります。
- 出展申込後の取消・小間数削減は、原則として認めません。ただし、主催者がやむを得ないと認めた場合は、取消・削減を認め、次の取消料を申し受けます。
 - ・2017年6月17日(土)から2017年8月26日(土)まで: 出展料の50%(税別)
 - ・2017年8月27日(日)以降: 出展料の100%(税別)

出展申込の手順が変わります!

出展申込は、下記サイトよりWEB申込をお願いいたします

[申込受付開始] 2016年12月2日(金) 10:00

<http://nkbp.jp/scfmcs2017>

※ 郵送でのお申込は、受け付けることができません。

※ 手続き上、「出展申込書・契約書」の原本(WEB申込をいただいた後、表示される画面)は、別途印刷いただき、押印をしたうえで、運営事務局までご送付ください。

開催までのスケジュール

2016年 12月1日(木) 開催説明会
12月2日(金) 出展申込受付開始
2017年 8月3日(木) 出展者説明会
9月上旬(予定) 来場事前登録開始

出展料のお支払いについて

- 出展料は主催者からの請求により2017年8月31日(木)までに、指定口座にお振込をお願いいたします。
- 振込手数料は出展者にてご負担をお願いいたします。
- 手形によるお支払いはお断りします。

システム コントロール フェア/計測展 TOKYO運営事務局(日経BP社)

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー

TEL: 03-6811-8084 | FAX: 03-5421-9170 | E-mail: scfmcs2017@nikkeibp.co.jp